

支援プログラム

作成日：令和7年3月3日

事業所理念	児童一人ひとりが尊厳のある生活を将来にわたって送юсьように支援します。			
支援方針	保護者とともに、遊びを中心とした活動を通じてお子様と深く関わり、心身の発達を促すと共に、ご家庭での療育を支援します。			
営業時間	8 時 30 分から 17 時 15 分まで	送迎実施の有無	あり	
	支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態の維持・改善（医師による健康チェック、給食摂取量の把握、身体測定、リハビリテーション） ・生活習慣や生活リズムの形成（朝の会、帰りの会、はみがき） ・基本的生活スキルの獲得（トイレトレーニング、医療的ケア児への適切なケア、褥瘡予防のための除圧） 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上（朝の体操、バランスボール、トランポリン、制作） ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用（個々に合った座位保持装置等の提供、自助具を使った活動の実施） ・身体の移動能力の向上（リハビリテーション） ・保有する感覚の活用（トランポリン、シーツブランコ、エアリー、水遊び・プール、パネルシアター、小麦粉遊び、砂場遊び、楽器遊び、足浴） ・感覚の補助及び代行手段の活用、感覚の特性への対応（眼鏡・補聴器等の活用、クールダウンの環境設定） 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知の特性についての理解と対応（バランスボール、オーシャンスイング、片栗粉遊び、制作、香り遊び、絵本） ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（制作、サーキット遊び、水遊び・プール、外気浴、公園遊び） 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基礎的能力の向上（発声、視線、表情、身体の動き等へのアプローチ） ・言語の受容と表出、言語の形成と活用（絵本の読み聞かせ、手遊び、パネルシアター、ボーリング、ボッチャ） ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（絵本、ふれあい遊び、パネルシアター、ボッチャ、音楽療法） ・コミュニケーション手段の選択と活用（PECS、絵カード、マカトンサイン、ジェスチャー） ・状況に応じたコミュニケーション（名前呼び、制作） 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着）の形成と安定（朝の体操、ふれあい遊び） ・遊びを通じた社会性の発達（絵本、手遊び、ボッチャ、公園遊び、親子分離保育） ・自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加（朝の会、帰りの会、ボールプール、新聞遊び、パラバルーン） 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会、勉強会の開催（毎月） ・家族参観（家族交流会）の開催（8月） ・ホームプログラム（家庭において親子で取り組める遊び等）の提供（毎月） 		移行支援	・並行利用する保育所等への訪問支援等（保育所等訪問支援事業）
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育所や児童発達支援事業所等への訪問支援、巡回相談、電話相談等 ※希望が丘こども医療福祉センター実施 		職員の質の向上	・各種研修会、階層別選択研修への参加
主な行事等	<p><施設外の行事等> ※医師・看護師随行 ・遠足（6月）・夏祭り（8月）・プール活動（9月）・運動会（10月）</p> <p><施設内の行事等> ・砂場遊び（5月・10月）・家族参観（8月）・ハロウィン（11月）・クリスマス会（12月）・餅つき（1月）・節分（2月）・修了式、卒園式（3月）</p>			